

TOP（立野大增プラン）

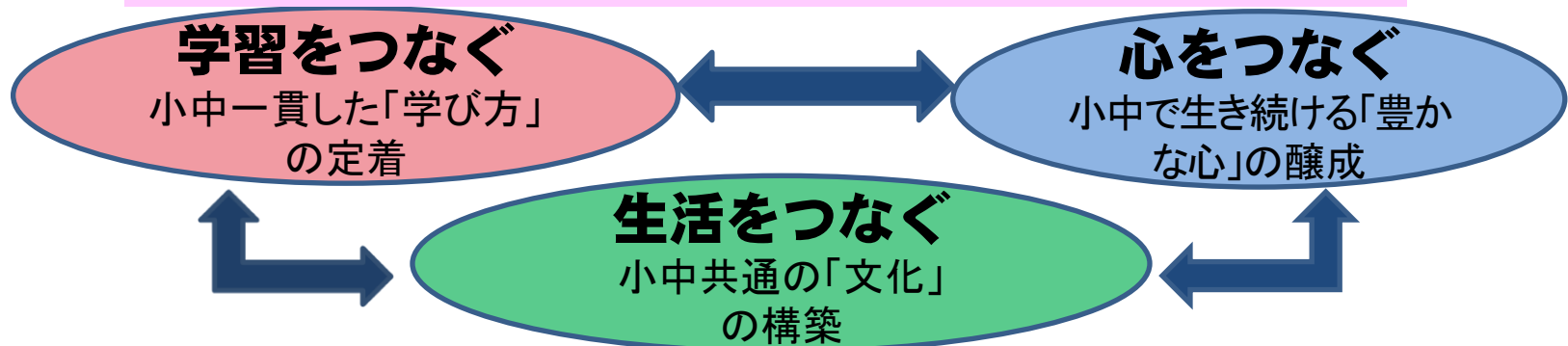
小中一貫教育を推進し、9年間を見通した一貫した指導を行い地域に誇れる学校、地域に誇れる児童・生徒の育成を目指していく。
（トップの教育を目指す）

研究主題

確かな学力と豊かな心を育てる小中一貫教育の充実と深化
～自ら考え、伝え合い、学び合うことのできる児童の育成～

「確かな学力と豊かな心を育てる」には

9年間の教育課程を言語活動に重点をおき、
小学校、中学校の教育活動を「つなぐ」取組を進める！





立野小学校課題研修テーマ

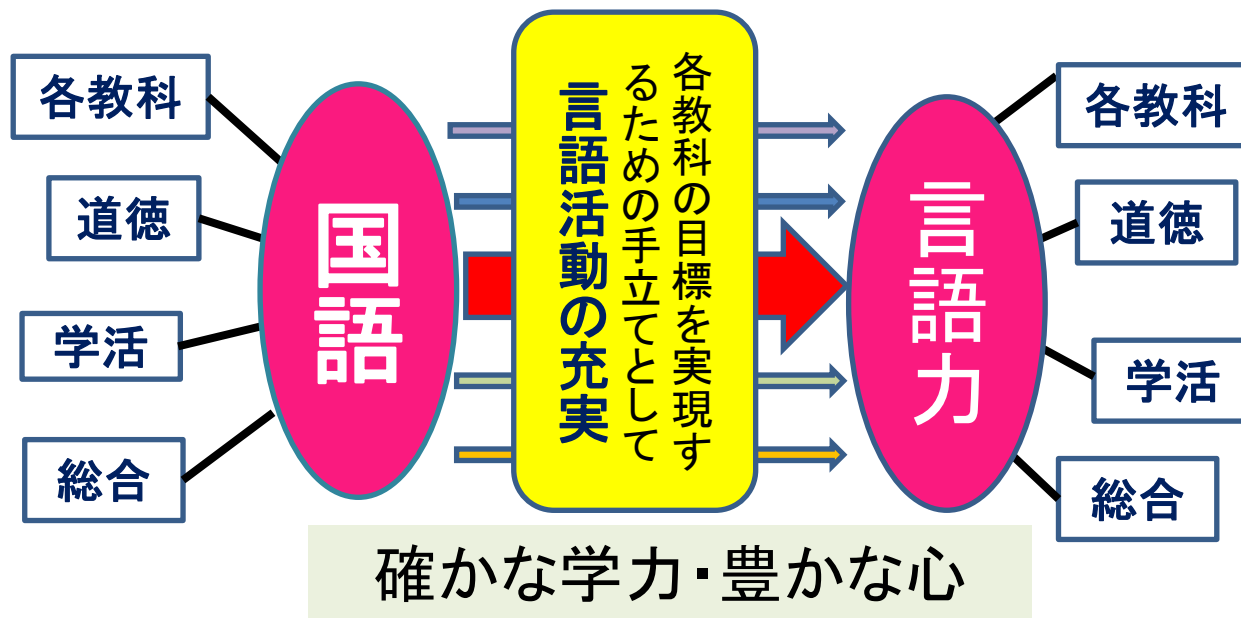
「小さなことを徹底し、基礎基本的な力を養う」
～文化の香りのする立野小～

国語科を中心に研究し、他教科・領域、そして中学校で
生きて働く国語力を培うことをめざす。

小学校

9年間を見通した発達段階に応じた取組

中学校



☆国語の授業を核として、話す力、聞く力、書く力、読む力を培う。

立野小の国語科授業の大まかな流れ

0. 準備

暗唱・辞書引き

1. 課題をつかむ めあての掲示

2. 内容をつかむ 意味のある音読

3. 一人で学ぶ 自分の考えをもつ

4. ペアやグループで学ぶ 自分の考えと友達の考えを 比べ、学びを深める

★重点★具体的なめあて

この授業で何を学んでほしいのかが
分かるよう、振り返りにつながる具体的
なめあてを提示する



★重点★音読指導

視覚・聴覚に働きかけ、理解を深める
発表する力の育成を図る

+

目的のある音読

・段落読み・問い答え読み・発表会に向けての原稿読み等



発達段階に応じたアクティブラーニング

一人学び（自分の考えをもつ）



第1段階 『基礎基本確立期』
(小学1年～小学4年)

第2段階 『基礎基本定着期』
(小学5年～中学1年)

ペア学習(2人で交流)

グループ学習(3～4人で交流)



第3段階 『基礎基本活用期』(中学2・3年)

知識構成型ジグソー法による学習

立野小の国語科授業の大まかな流れ

5. まとめる

本時のめあてに返り、
学ぶべきことをおさえる

6. 振り返る

本時の学習内容を振り返る。
次時への意欲を高める。

★重点★めあてを受けた具体的な振り返り

本時のめあてが達成できたか、どんなことを学んだの
かなど具体的な視点を持たせ、自分の言葉で振り返る

国語の授業を核として、
話す力、聞く力、書く力、読む力を培う。



学習をつなぐ

②基礎基本力の定着を図る

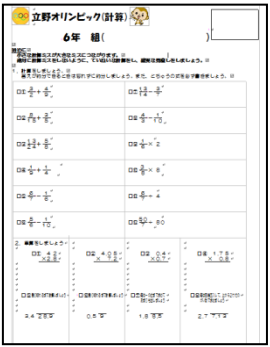
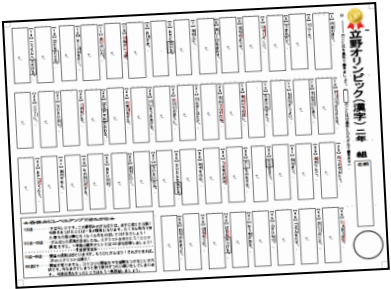
**ステップアップタイム(業前)での視写
書く力、集中力の育成を図る**



**お話朝会での校長講話
大事なことを聞き取る力、
自分の考えを持つ力の育成を図る**



**立野オリンピック(漢字・計算)開催
長期休業を利用した家庭学習の励行を図る、基礎基本の定着を図る**



③学習環境の充実

家庭学習の意欲付け、家庭への啓発

家庭学習の習慣化と 自ら進んで学習する態度を育てる

[illegible]

あ 相手に聞こえる大ききで
い 言う順番を考えて
う 美しい言葉で
え 笑顔で目を見て
お おしまいまで

生活と結びつけた日本文化の教養を
習得し、古典への興味関心を喚起する



中学校を意識して、3年生から家庭学習に取り組んでいます。

小中合同避難訓練 一齊下校



体験と言葉を結び付ける取組(自分⇄友人・地域・世界との関わりを見通した活動)
・行事振り返り ・地域と連携したキャリア教育 ・国際理解教育 ・福祉教育

[illegible]

心をつなぐ

小中で生き続ける「豊かな心」の醸成

児童生徒の交流
(陸上練習)



ボランティア
(夏休み学習教室への補助)



小中合同あいさつ運動



特別支援学級合同学習会



つながりを意識した指導の研究

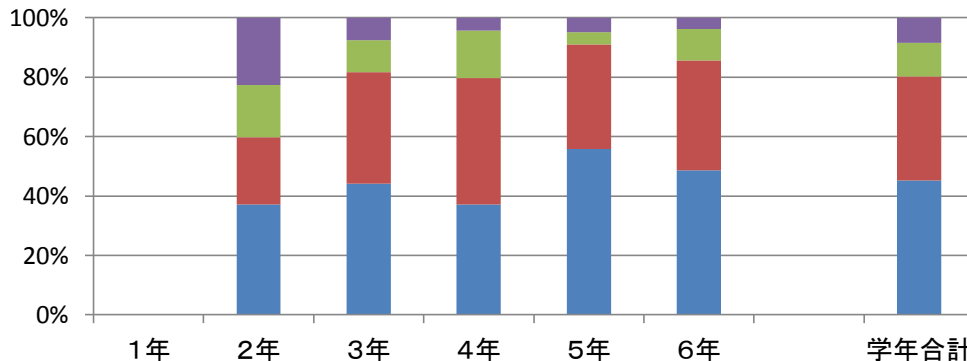
小中合同研修会

↓国語部会より
学びステップ作成



	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
発表(交流)	○自分の考えを相手に届く声で発表する。 ○原稿を見て伝える。(話型あり) ○一言感想を伝える。		○理由や事例などを挙げて、みんなに自分の考えが伝わるように発表する。 ○原稿を見ずに相手に伝える。(話型あり) ○一言ではなく、一文で感想を伝える。		○お互いの意見を比べながら、自分の考えをより深めて発表する。 ○原稿を見ずに相手に伝える。(話型なし) ○一文ではなくフリートークで感想を伝える。	
	ペア活動		グループ活動(3～4人)			
聞く	話す人の方に顔を向けて最後まで聞く	大事なことを落とさずに聞く	自分の意見と比べながら聞く		聞いた内容から自分の考えを深める	
書く	鉛筆を正しく持つ 筆圧をかけて書く	姿勢を正して書く	決められた時間内に、丁寧に書く 新聞形式にまとめて書く。		書いてあること以外の情報も書く 聞きながら書く	
音読	語のまとまりに気をつけて正確に読む。 相手に届く声ではっきりと読む。 はっきり正しく、抑揚をつけて読む。		声の強弱や読む速さなど、工夫をしながら読む。 音読記号を活用する。 助詞や語尾を強調せず、自然に読む。		ある程度の速さですらすらと読む。 →黙読に繋げる。 聞き手に様子がよく伝わるように、気持ちを込めて読む。	
ノート	黒板の字を丁寧に書き写す。 マスから出ないように書く。		定規を使いながら、表に整理してまとめる。 大きさを整えて書く。		レイアウトを工夫してまとめる。	

★友達と話し合うことで自分の気づいていなかった考えを知るなどして、自分の考えを深められていると思う。



■ 全く思わない
■ あまりそう思わない
■ どちらかといえばそう思う
■ そう思う

←平均80%以上の児童が「話し合うことで考えが深められている」と感じている。